



# JR九州グループの会社説明会

2024年10月24日

九州旅客鉄道株式会社（証券コード：9142）



KYUSHU RAILWAY COMPANY



# 本日お伝えしたいこと



## JR九州グループ について

- JR九州グループのあゆみ
- JR九州グループの事業構成

## JR九州の 経営戦略

- JR九州グループの経営計画の体系
- 本中期経営計画の重点戦略
- 本中期経営計画の実行を支える人づくり・基盤づくり
- JR九州グループにおけるESGの取り組み

## 決算ハイライト ・ 株主還元

- 決算ハイライト
- 2025年3月期通期連結業績予想
- 鉄道運賃・料金改定の認可申請
- 株主還元方針
- 株主優待制度



# JR九州グループについて



KYUSHU RAILWAY COMPANY

# 企業プロフィール（2024年3月31日現在）



- **会社名称** 九州旅客鉄道株式会社
- **設立** 1987年4月1日
- **従業員数** 単体7,576名(連結14,677名)※2024年4月1日現在
- **発行済株式総数** 157,301,600株（単元株式数：100株）
- **上場市場名** 東京証券取引所プライム市場、福岡証券取引所
- **株主数** 168,678名
- **子会社・関連会社**

子会社	63社（うち	連結子会社49社）
関連会社	7社（うち持分法適用関連会社5社）	



# JR九州グループのあゆみ



KYUSHU RAILWAY COMPANY

# JR九州グループのあゆみ



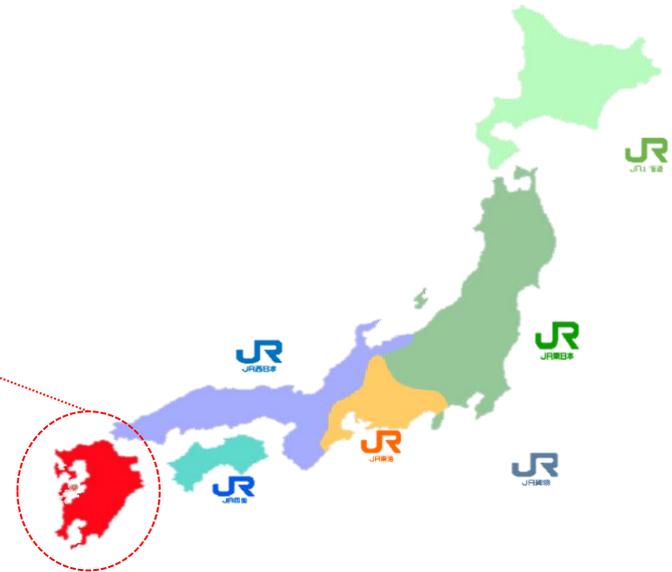
「日本国有鉄道」の分割民営化によりJR九州が発足

## ■ あらゆる事業に挑戦する精神

「鉄道事業だけに依存してはいけない」という思いで、  
様々な事業に挑戦し成長を実現してきた



**JR**  
JR九州  
**1987**



# JR九州グループのあゆみ



コーポレートカラーは「赤」



南の明るい太陽の国には、燃える熱意の色「赤」がふさわしく、  
全力で明るくスタートダッシュをきる新会社の意欲的な姿勢を表現

# JR九州グループのあゆみ



地域を元気にするという思いのもと**鉄道事業**と**関連事業**の両輪であらゆる価値を創出

## ●鉄道事業



### (D&S列車)

- ・1989年の特急「ゆふいんの森」の運行を皮切りに、現在では、10本のD&S列車（デザイン&ストーリー列車（観光列車））を運行
- ・今春には、「かんぱち・いちろく」がデビュー



### (ななつ星 in 九州)

- ・2013年に日本で初めてのクルーズトレインとして誕生
- ・米国出版大手コンデナスト社の旅行誌の読者投票では「世界の豪華列車」部門で3年連続世界トップに選ばれる



### (九州新幹線・西九州新幹線)

- ・2011年に九州新幹線（博多～鹿児島中央）が全線開業し、JR博多シティとの相乗効果で当社の成長はさらに加速
- ・2022年に西九州新幹線が開業を果たし、西九州エリアの活性化を後押し

# JR九州グループのあゆみ



地域を元気にするという思いのもと**鉄道事業**と**関連事業**の両輪であらゆる価値を創出

## ● 関連事業



### (不動産・ホテル)

- ・ 1989年に初の分譲マンション販売を開始
- ・ 1992年に「ホテルブラッサム福岡」を開業  
現在、九州・沖縄、京都、東京、タイにて、20のホテルを展開
- ・ 1997年に初の駅ビル事業であるアミュプラザ小倉が開業  
現在、九州の県庁所在地を中心に駅ビルを7箇所を展開
- ・ 2021年に物流事業へ参入  
現在、物流不動産を4件取得、2件の開発に着手



### (流通・外食)

- ・ 2002年には、飲食店「うまや」を東京・赤坂に開業する  
など、東京、九州で外食事業も展開



# JR九州グループのあゆみ(「ななつ星 in 九州」 運行10周年)





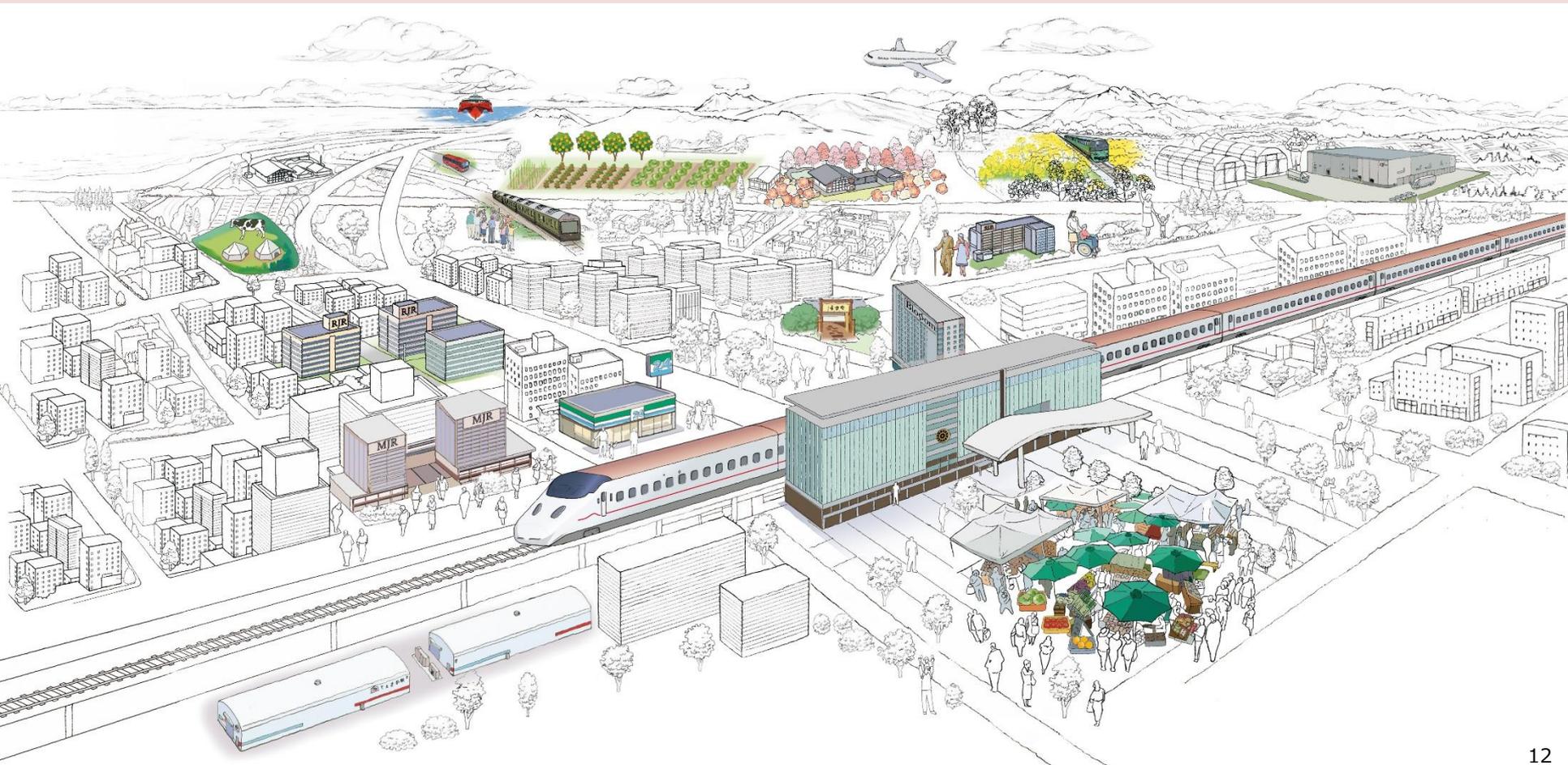
# JR九州グループの主な事業構成



KYUSHU RAILWAY COMPANY

# JR九州グループの事業構成

- JR九州グループは、九州全域に鉄道網を有する鉄道をコア事業とする企業グループ
- 駅ビルやホテル、マンション、建設、船舶、流通や外食事業など、鉄道事業との相乗効果が高い領域を中心にその事業領域を拡大

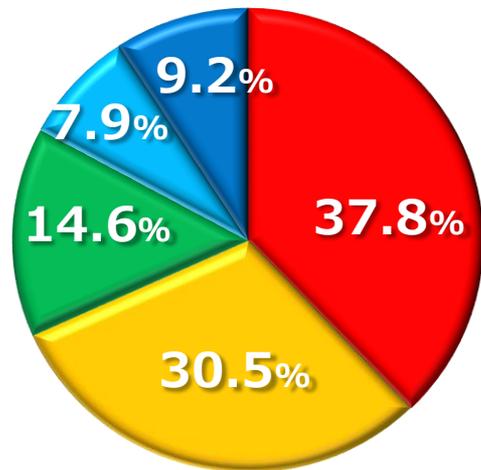


# JR九州グループの事業構成



鉄道以外の事業による売上が約6割となっており、事業の多角化が進んでいる

【セグメント別 売上構成比（2024年3月期）】



## 運輸サービス



## 不動産・ホテル



## 流通・外食



## 建設



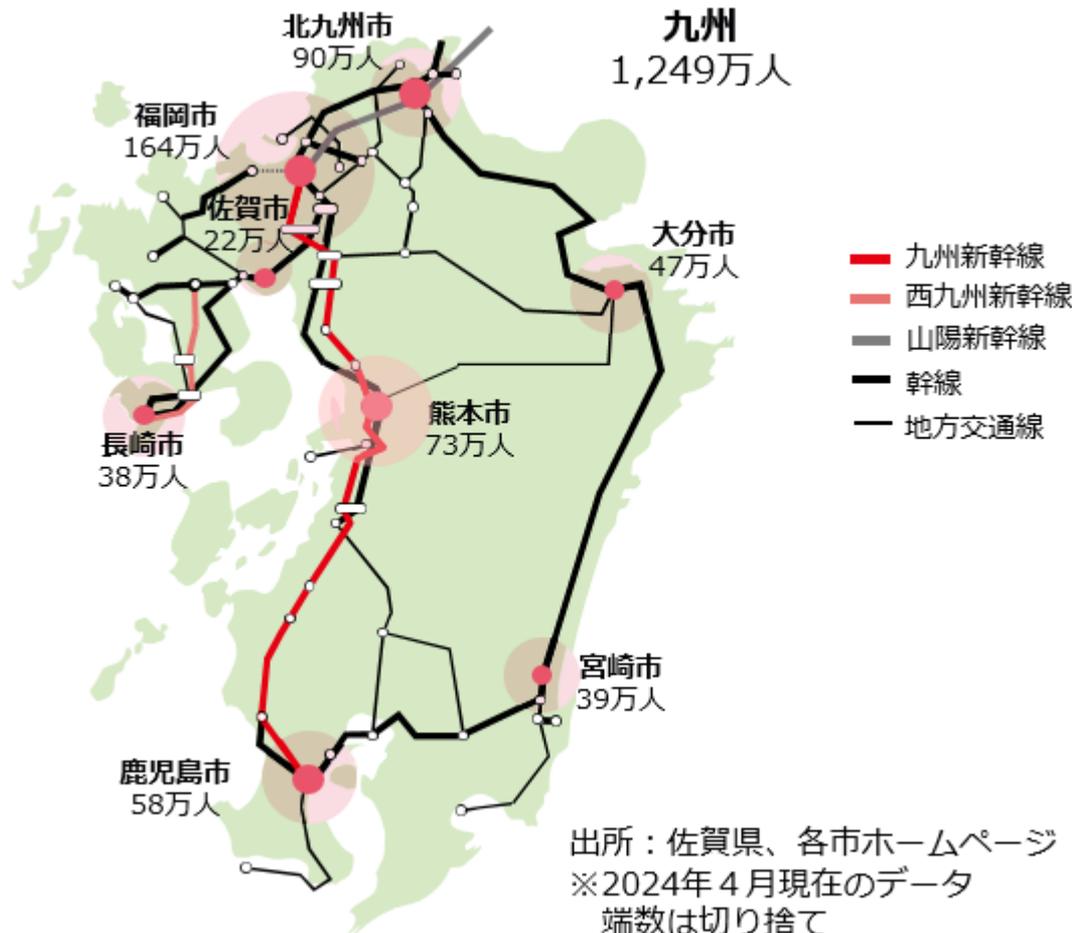
## ビジネスサービス



# JR九州グループの事業構成 | 全国屈指の経済基盤を有する九州



- 九州は『日本の1割経済』という位置付け（域内総生産、総人口、総面積、事業所数等）
- 福岡市及びその周辺は人口増加が見込まれる成長性の高い都市
- 40万人以上の人口を有する都市が九州全体に分散
- 九州は人口減少が進んでいるものの、強固な経済基盤を有している

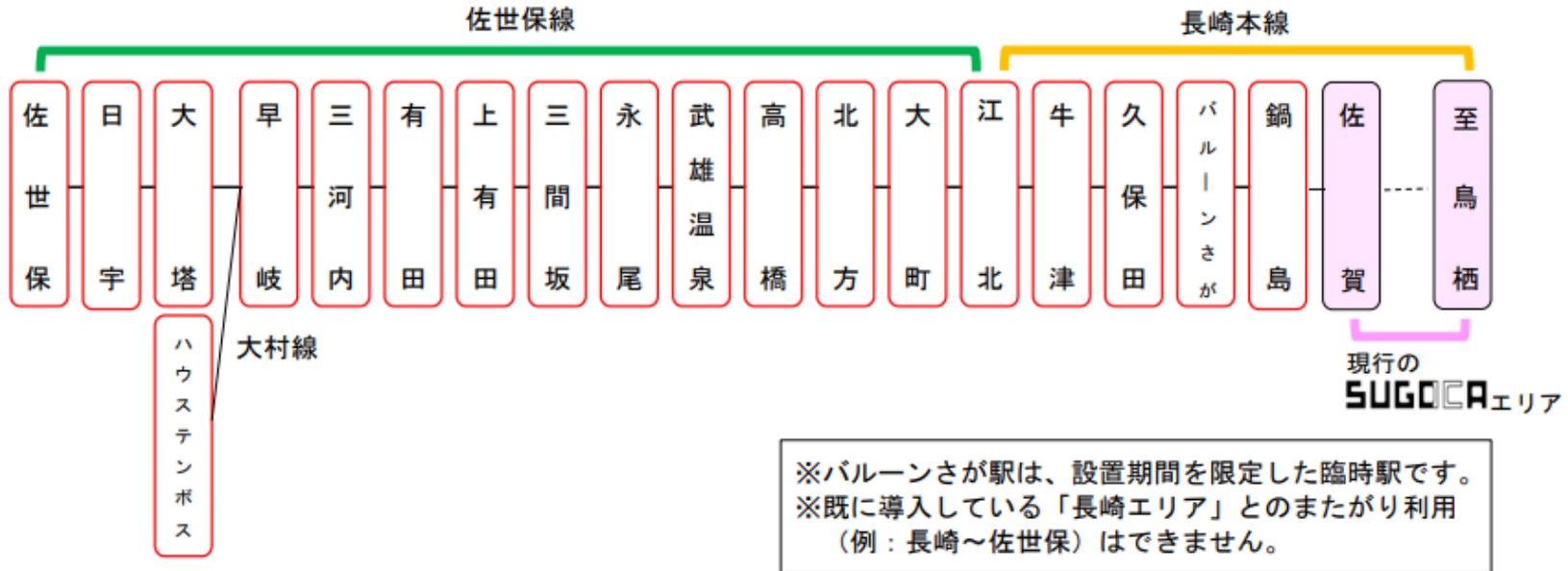


# JR九州グループの主な事業構成（佐世保地区）



- 2024年10月3日よりICカード導入エリアを西九州エリアへ拡大
- 毎週月曜日に佐世保駅が始終着となるD&S列車「36ぷらす3」を運行

## ICカード導入エリア



## 36ぷらす3について



- コンセプトは「九州のすべてがぎゅーっと詰まった“走る九州”といえる列車」です。
- 月曜日（佐世保）ルートである金の路では、博多駅を出発し、佐賀駅、肥前浜駅、武雄温泉駅、早岐駅を通り、佐世保駅が終点となります。佐世保駅発博多駅行きの夜間営業運行もあります。
- 月曜日ルートでは、西九州のやきもの文化に着目し、身近にやきものに触れ、かつサステナブルな陶片を使いオリジナルコースターを作成する「陶片体験（有料）」ができます。

# JR九州グループの主な事業構成（佐世保地区）



- 佐世保駅はJRグループで日本最西端の駅
- 駅、ホテルをはじめ、佐世保車両センター等様々な施設を有している

## 主な施設

- ・ 佐世保駅



- ・ ホテルオークラJRハウステンボスホテル



- ・ えきマチー丁目佐世保



- ・ 佐世保車両センター





# JR九州の経営戦略



KYUSHU RAILWAY COMPANY



# JR九州グループの経営計画の体系



KYUSHU RAILWAY COMPANY

# 価値創造ストーリー



## 価値創造ストーリー

「あるべき姿」には、私たちが、九州の元気をつくっていく、さらに、九州から日本、そしてアジアを舞台に元気をつくっていくという思いが込められています。

「誠実」、「成長と進化」、「地域を元気に」の3つの「おこない」は、私たち一人ひとりが常に立ち返るべき拠り所として大切にしている行動指針です。

当社グループは、「あるべき姿」に向けて「おこない」のもとに事業を実践することで、企業価値向上と持続可能な社会の実現を目指していきます。

### あるべき姿

安全とサービスを基盤として  
九州、日本、そしてアジアの元気をつくる  
企業グループ

### 価値創造プロセス

#### 2030年 長期ビジョン

安全・安心なモビリティサービスを軸に  
地域の特性を活かしたまちづくりを通じて  
九州の持続的な発展に貢献する

#### 2030年長期ビジョン実現方針

- 方針① 価値観の変化を捉えた“豊かな生活を実現する”まちづくり
- 方針② 九州の持続的な発展に貢献する領域の拡大

#### マテリアリティ

JR九州グループが常に考えるべきこと

- E** 脱炭素社会の実現
- S** すべての事業の基盤となる安全とサービス
- S** 持続可能なまちづくり
- S** 価値創造の源泉である人づくり
- G** 健全な企業運営

JR九州グループが大切にしている  
3つのおこない

「誠実」  
「成長と進化」  
「地域を元気に」

JR九州グループ  
中期経営計画  
2022-2024



## 2030年長期ビジョン実現方針

### 2030年長期ビジョン(前中期経営計画から継続)

安全・安心なモビリティサービスを軸に地域の特性を活かしたまちづくりを通じて九州の持続的な発展に貢献する

#### ◆2030年長期ビジョン実現方針

方針①

価値観の変化を捉えた“豊かな生活を実現する”まちづくり

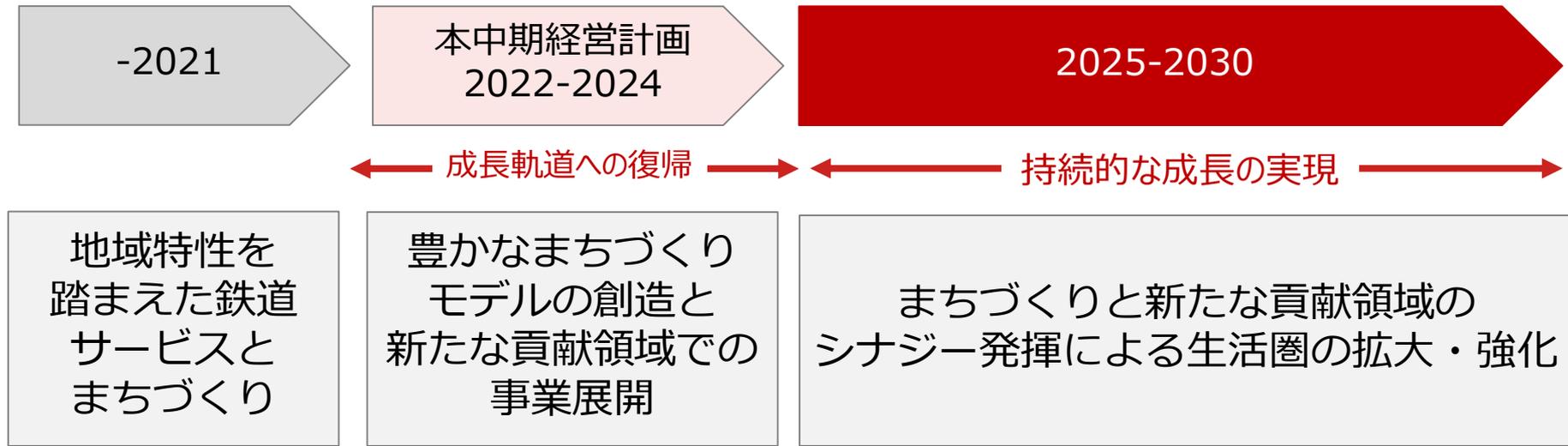
方針②

九州の持続的な発展に貢献する領域の拡大

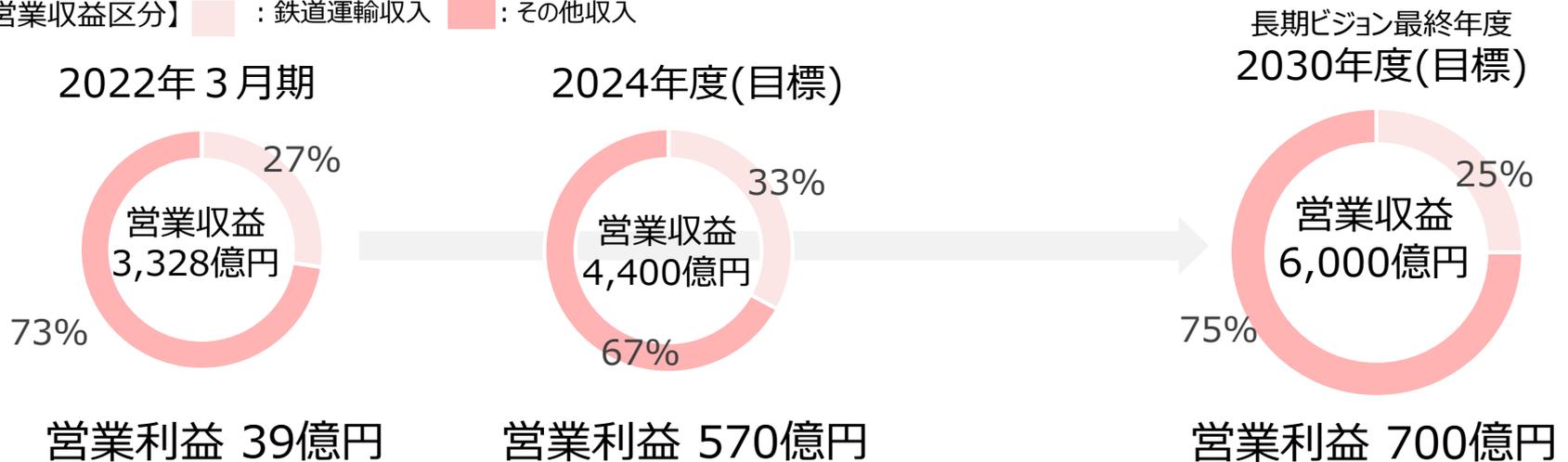
# JR九州グループの経営計画の体系



## 長期ビジョン実現に向けたステップ



【営業収益区分】 ■ : 鉄道運輸収入 ■ : その他収入





# 本中期経営計画の重点戦略



KYUSHU RAILWAY COMPANY



## 3つの重点戦略

- 重点戦略① 事業構造改革の完遂
- 重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造
- 重点戦略③ 新たな貢献領域での事業展開



## 3つの重点戦略

重点戦略①

事業構造改革の完遂

重点戦略②

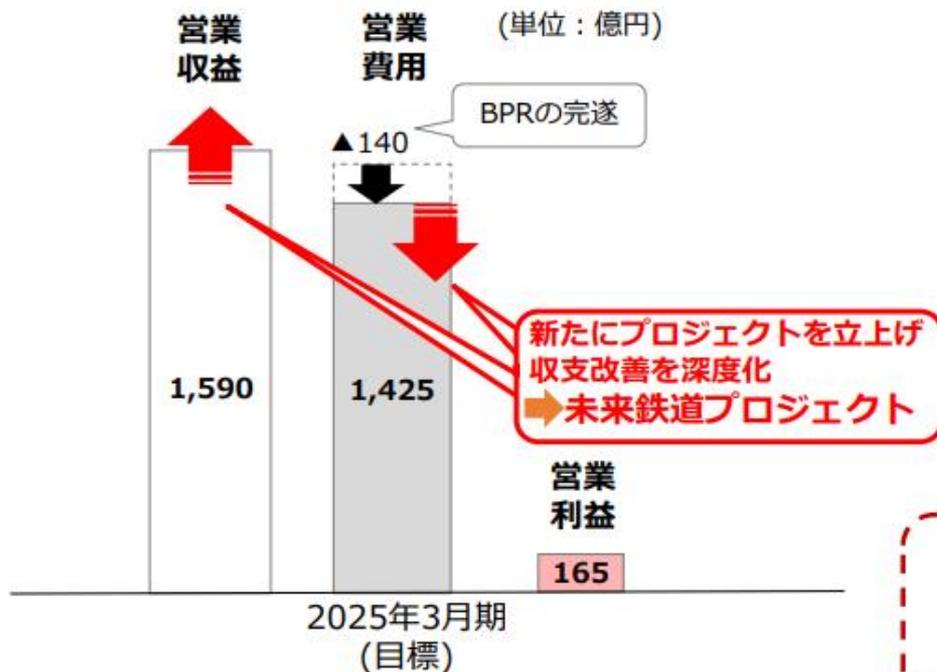
豊かなまちづくりモデルの創造

重点戦略③

新たな貢献領域での事業展開

BPRで培ったスリムな鉄道事業を起点として、モビリティの進化と経営体力の強化に取り組み、九州のまちづくりを牽引する「未来の鉄道」をつくる

## 中期経営計画と未来鉄道プロジェクトの関係性



## 九州のまちづくりを牽引する 「未来の鉄道」をつくる。

モビリティの進化  
経営体力の強化

### セカンドステージ2030

- ・インテリジェントな鉄道
- ・持続可能なモビリティサービスの展開

### ファーストステージ2024

- ・グループ全体での収支改善
- ・持続可能なモビリティサービスの共創
- ・技術革新によるセカンドステージの土台作り

コスト削減

技術革新による  
コスト削減

収入獲得

収支管理  
の見直し

成長への投資

BPR

コスト削減 ▲140億円  
(継続的に発現)

# 重点戦略① 事業構造改革の完遂 | 鉄道事業（未来鉄道プロジェクト）



- JR九州アプリを大幅リニューアル。新規アプリユーザー獲得の施策も実施
- 新技術を活用して鉄道部品を製造することで、修繕費の削減に寄与

## JR九州アプリのリニューアル

- JR九州アプリ初の大幅リニューアルを5月末に実施。WEBサイトとアプリ上で同じ割引きっぷが購入可能になったほか、操作性の向上を実現
- アプリ内でくじを引き、旅先が決まる「九州アプリ くじきっぷ」を先着10,000組限定で発売。新規アプリユーザーを獲得し、お客さまの裾野を拡大

### 累計ダウンロード数

約233万  
※2024年7月14日現在

(参考)九州の人口  
約1,260万人

※2023年10月1日現在

出典：「人口推計」（総務省統計局）

### くじきっぷ発売に伴うダウンロード数推移



※6/23のダウンロード数=100として指数化

## 効率的な鉄道部品修繕を新技術で実現

- 樹脂・金属プリンティング技術を用いて、製造中止物品を製造することで、必要最低限の費用で修繕を可能に

### 修繕フロー例

#### 発電機用歯車

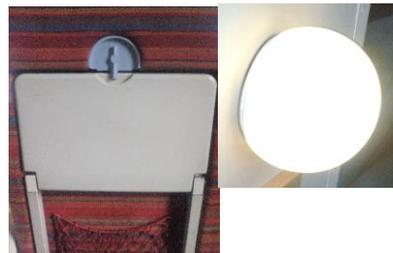


破損部分除去

積層造形

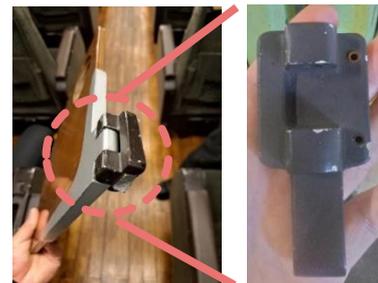
仕上げ加工

### 樹脂製品



- 特急列車のテーブルストッパー
- D&S列車のランプシェード 等

### 金属製品



- 特急列車のテーブルアーム 等

# 重点戦略① 事業構造改革の完遂 | 環境配慮型の新車両基地の建設

- 環境配慮型の新たな車両基地を建設
- 建造から100年以上が経過し、老朽化が著しい車両基地を移転

## 背景・目的

- 当社在来線で唯一の車両工場である小倉総合車両センターは建造から100年以上が経過。施設・設備の老朽化に対応する必要あり



## 移転候補地及び竣工時期

- 移転候補先である東小倉駅(貨物駅、日本貨物鉄道株式会社保有)の用地取得に向け協議中。今年度末の用地取得を目指す



Map data © OpenStreetMap contribution

## 新車両基地への移転

- 持続可能な車両検査の実現を目指した環境配慮型の新たな車両基地を建設し、機能を移転

コンパクト化	新技術の導入及び効率的な検査ラインの構築によるコンパクトな車両基地
効率的な車両検査	検査日数の短縮及び省人化による効率的な車両検査の実現
地球環境への貢献	太陽光エネルギーの活用及びZEB化の実現

- 新技術の導入等により、現在の約半分の広さの用地でコンパクトな車両基地を実現

現在地	小倉総合車両センター	約15.8万㎡
移転候補地	東小倉駅(貨物駅)	約7.8万㎡

- 竣工時期は2031年度末頃を予定。投資額は約480億円を想定



## 3つの重点戦略

重点戦略①

事業構造改革の完遂

重点戦略②

豊かなまちづくりモデルの創造

重点戦略③

新たな貢献領域での事業展開

# 重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造 | 西九州エリアのまちづくり

西九州新幹線開業を起爆剤とした西九州エリアの開発を推進することで、新幹線開業効果の最大化を目指す。



- B** 長崎マリオットホテル開業
  - 2024年1月16日開業
  - 客室数207室（うちスイート28室）



- B** アミュプラザ長崎本館リニューアル
  - 2024年3月1日リニューアル
  - 28店舗、長崎最大級「食のフロア」



2022年1月      2022年3月      2022年9月      2023年4月      2023年11月      2024年1月      2024年3月

- A** 茜さす 肥前浜宿 古民家宿泊施設
- B** かもめ市場 お土産・飲食等
- 西九州新幹線
- C** 佐賀駅高架下 リニューアル
- B** アミュプラザ長崎新館
- D** 嬉野八十八
- B** 長崎マリオットホテル
- B** アミュプラザ長崎本館リニューアル



# 重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造 | 西九州新幹線開業効果の最大化

- 2024年9月に開業2周年を迎えた西九州新幹線のご利用状況は順調に推移
- 定期ご利用者数も増加傾向にあり、西九州新幹線の開業効果は継続しているものと認識

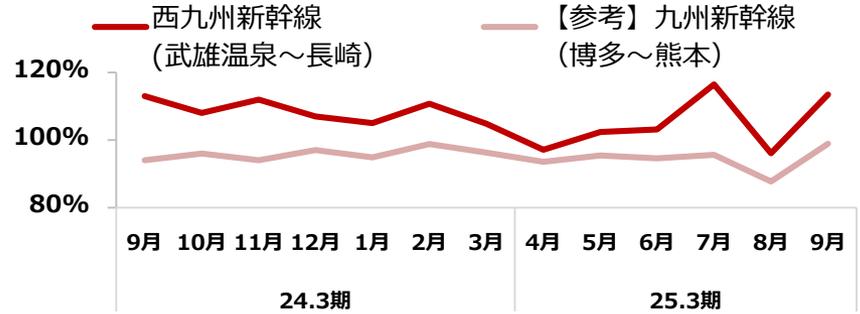
## 西九州新幹線のご利用状況

開業2年目の西九州新幹線 ご利用者数  
(2023年9月23日～2024年9月22日)

約6,900人/日

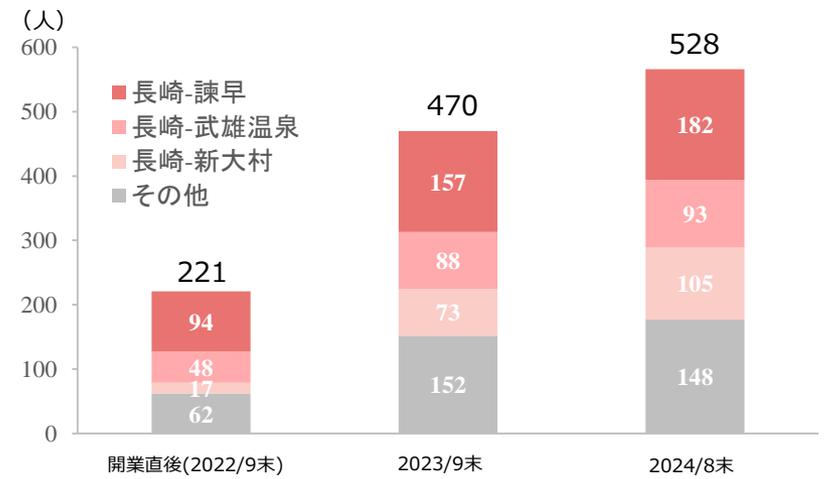
※開業1年目  
ご利用者数  
約6,700人/日

### 西九州新幹線ご利用者数の19.3期比



※西九州新幹線は武雄温泉～長崎間の実績、開業1年目ご利用者数は2022年9月23日～2023年9月22日の実績  
※2018年度の諫早～長崎間の特急「かもめ」の利用実績比

## 西九州新幹線 定期ご利用者数推移



## JR長崎駅ビルの状況

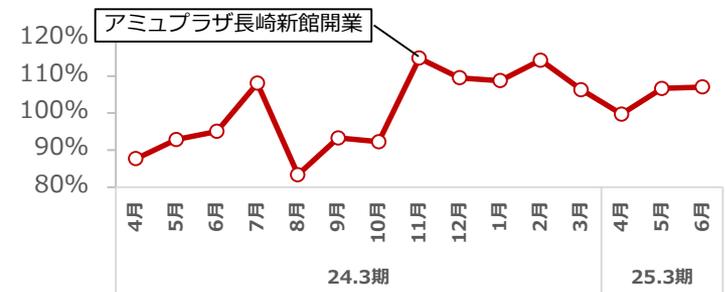


開業6か月間  
全館ご来館者数  
約1,324万人  
内、新館約506万人

(参考)長崎県の人口  
約126万人

※2023年10月1日現在  
出典:「人口推計」(総務省統計局)

## 長崎駅近距離収入の19.3期比







## 3つの重点戦略

重点戦略①

事業構造改革の完遂

重点戦略②

豊かなまちづくりモデルの創造

重点戦略③

新たな貢献領域での事業展開

# 重点戦略③ 新たな貢献領域での事業展開 | M&Aの推進



- 収益機会の獲得や事業領域の拡大を目指し、既存事業とのシナジー効果の最大化や九州の観光推進につながるM&Aをこれまで実施してきた。
- 最近では、BtoB事業への挑戦と、地域の雇用維持やブランド価値の維持向上を図っている。

## M&AによりJR九州グループ入りした会社

### ● 2016年以降、BtoB領域では11社、BtoC領域では5社の会社をM&A

(BtoB領域)

- ・ キャタピラー九州
- ・ CKレンタル

キャタピラー・ジャパン合同会社の九州地区特約販売店であり、建設機会・道路機会等の販売、レンタル等が主な事業



- ・ プレミアムロジックス

ピアノ等の大型楽器、複合機や医療機器等の精密機械を中心とした重量物の運送等が主な事業



(BtoC領域)

- ・ フジバンビ

「黒糖ドーナツ棒」をはじめとした菓子の製造販売等が主な事業



- ・ おおやま夢工房

九州有数の梅の郷 大分県日田市大山町の温泉宿「奥日田温泉 うめひびき」の運営、梅酒をはじめとした加工品の製造・販売等が主な事業





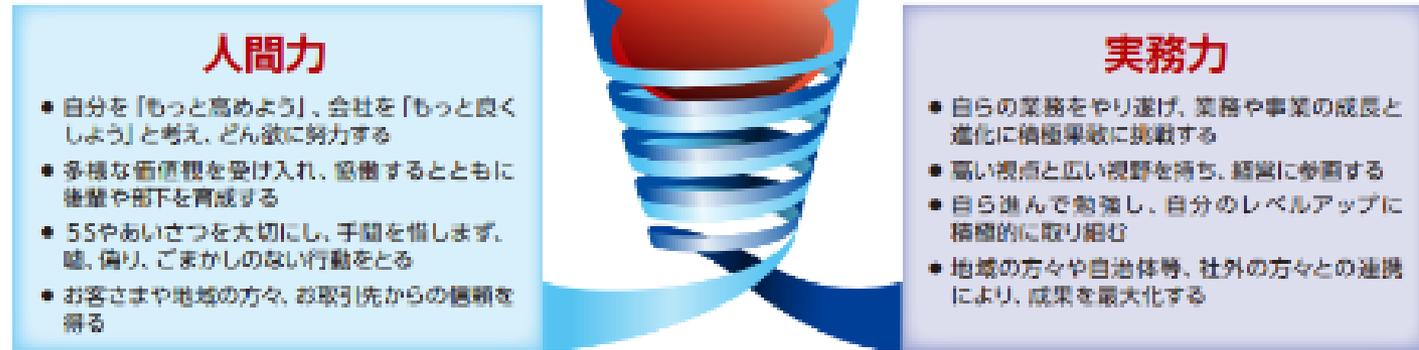
# 本中期経営計画の実行を支える 人づくり・基盤づくり



KYUSHU RAILWAY COMPANY

# 本中期経営計画の実行を支える人づくり・基盤づくり

## JR九州の人材戦略



「JR九州グループ中期経営計画2022-2024」  
「2030年長期ビジョン」「あるべき姿」の実現に向け、基盤となる「人づくり」を推進するため、新しい人材戦略を策定

**2つの基本方針**

- ▶ 社員が働きがいを持ち、いきいきと活躍できる会社づくり
- ▶ 人間力と実務力を持った社員の育成

## 人材戦略の4つの柱

意欲と能力のある社員への挑戦・成長の機会の提供と支援

多様な価値観や能力を持つ社員の活躍による新たな価値の創造

努力と成果に応じたメリハリのある評価と報酬

ライフプランに合わせた柔軟な働き方が選択できる環境整備と健康経営の推進



## 安全

＜安全に関する社員の声＞

“安全はあるものではなく、つくりあげていくもの”  
との考えのもと、**安全性向上**に取り組む



## サービス

＜お客さまの声＞

「**サービスを社風へ**」と高めるべく、**お客さまの声**  
に耳を傾け、サービスのさらなる向上・改善に注力



## 人づくり

＜新規事業提案制度を通じた多様なキャリア＞

**自ら学び、挑戦する人づくり**に取り組み、  
多様な人材が生き活きと活躍できる環境をつくる

# 本中期経営計画の実行を支える人づくり・基盤づくり



## ●JR九州グループDX戦略2022-2024

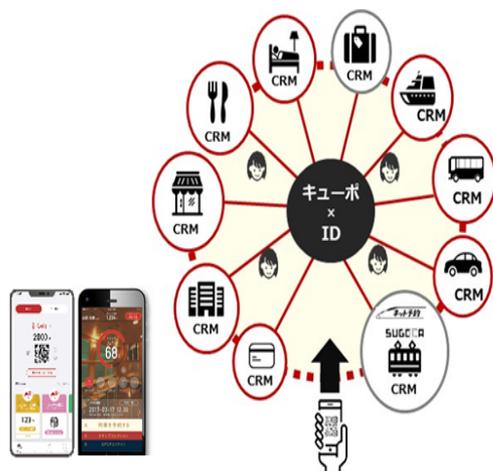
### DX推進

DX: デジタルトランスフォーメーション

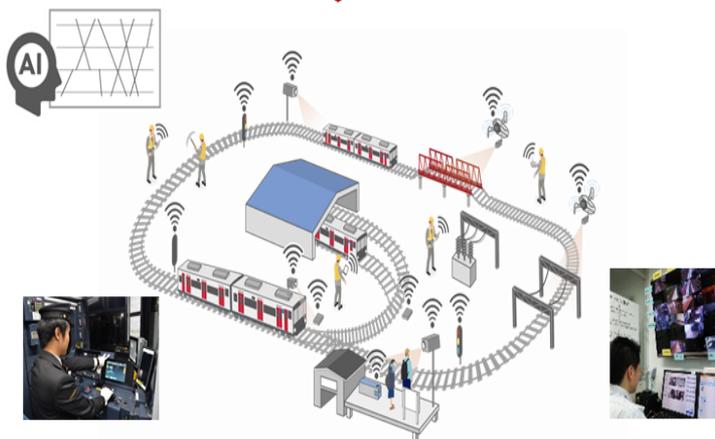
デジタル技術を発展させ、業務の効率化だけでなく人々の生活をより良いものへと変革すること

### デジタル推進体制の構築

### デジタル基盤の整備



お客さま体験価値向上



オペレーション・メンテナンス改革



働き方改革・生産性向上

・上記の実現に向けて、デジタル技術の活用やデジタル人材の育成等を通じた環境整備を行い、デジタル推進体制の構築に取り組む



# JR九州グループにおけるESGの取り組み



KYUSHU RAILWAY COMPANY

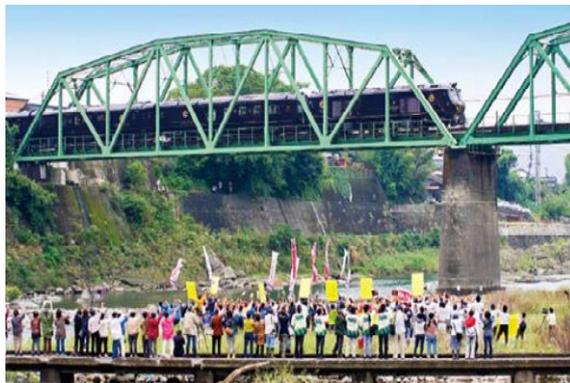
# JR九州グループにおけるESGの取り組み



ESG経営は全社的課題



**環境**  
(Environment)



**社会**  
(Social)



**ガバナンス**  
(Governance)

# JR九州グループにおけるESGの取り組み

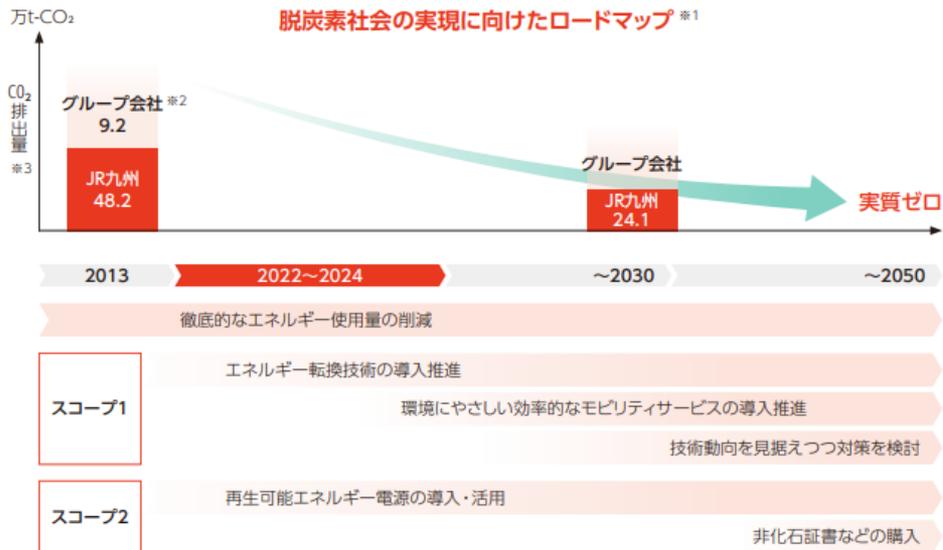


## E：脱炭素社会の実現に向けて

### 脱炭素社会の実現に向けた基本的な考え方



### 脱炭素社会の実現に向けたロードマップ



※1 適切にマイルストーンを置き、将来的な技術動向や経済合理性を考慮しつつ、適宜見直しを実施する  
 ※2 エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)で定められる定期報告の集計値  
 ※3 スコープ1、2排出量

### 本中期経営計画期間における主な取り組み



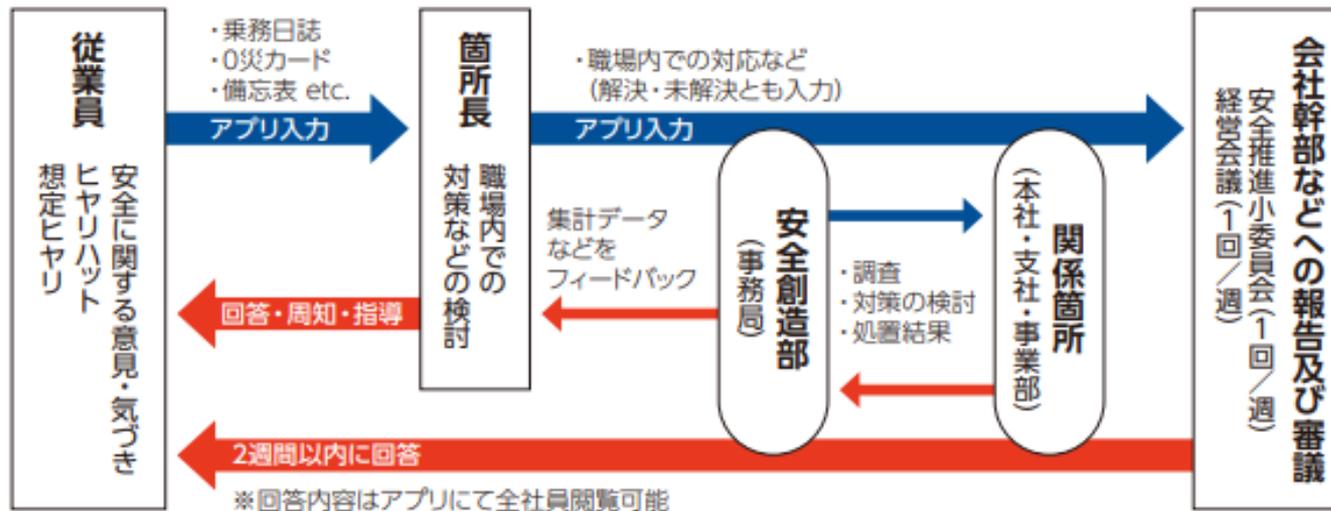
# JR九州グループにおけるESGの取り組み

S：すべての事業の基盤となる安全とサービス

## 安全に関する基本的な考え方

# 安全はあるものではなく、つくりあげていくもの

## 安全に関する社員の声



## 安全に関する社員の声（改善事例）



長崎駅の柵内ホーム端の立ち入り禁止エリアを越えて写真撮影をされるお客さまにヒヤリとした。



長崎駅に注意喚起シートを貼付け、ポールを設置し注意喚起を行うことで安全を確保

# JR九州グループにおけるESGの取り組み

S：すべての事業の基盤となる安全とサービス

## 安全を支える人材の育成（安全創造館）

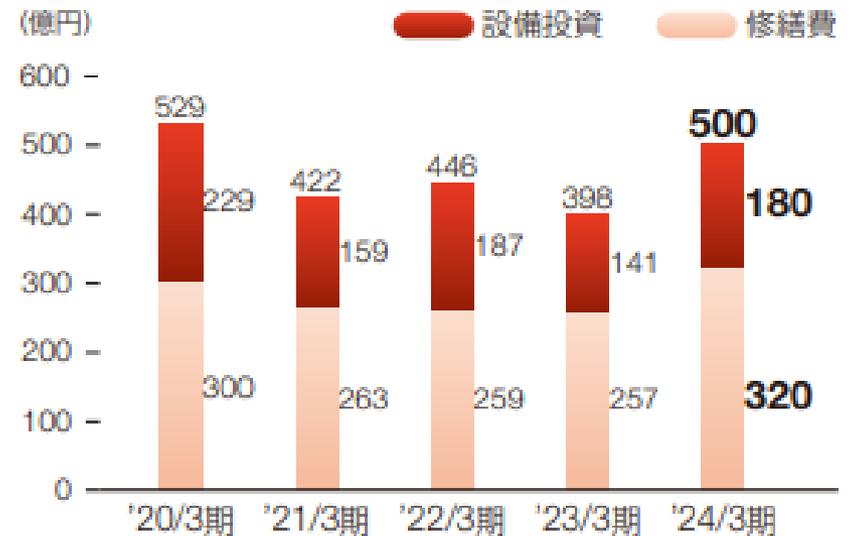
- ・ 目的：過去の事故等の教訓を風化させず、基本動作や安全対策の意味を理解し、お客さまや社員の安全のために行動できる社員の育成を実現するため
- ・ 開設年月：2011年1月
- ・ 内容：過去の事故概要等のパネル展示での学習や模擬踏切、模擬ホーム、模擬トンネル、模擬車両及び労働災害を学ぶ設備があり、実際に体感、体験することが可能
- ・ 受講人数：63,489名（2023年度末現在）  
※安全創造館開設以来の人数



経営陣が受講する様子(6巡目研修)

## 安全にかかわる設備投資等

毎年計画的に実施しており、2023年度は、老朽設備の取替え、保安・防災対策、安定輸送対策、車両関係などへの投資として180億円、鉄道設備や車両などの維持管理のための修繕費として320億円、合計500億円を支出



# JR九州グループにおけるESGの取り組み

G：ステークホルダーとのコミュニケーションの充実

地域社会との持続的な関係づくり



<取り組み事例>

- エキマエ・エキナカでの地域のPRイベントの実施
- D&S列車を通じた地域のおもてなし
- 地域の方々と作り上げたJR九州ウォーキングの実施
- 踏切安全教室や親子イベントの実施

JR九州 地域と連携

検索

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/esg/chiiki/>

# JR九州グループ統合報告書2024



JR九州グループの財務情報に加え、経営方針・事業戦略・ESG情報等の非財務情報を記載した**統合報告書**を作成・公表



JR九州 統合報告書

検索

[https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/integrated\\_report/](https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/integrated_report/)



# 決算ハイライト・株主還元



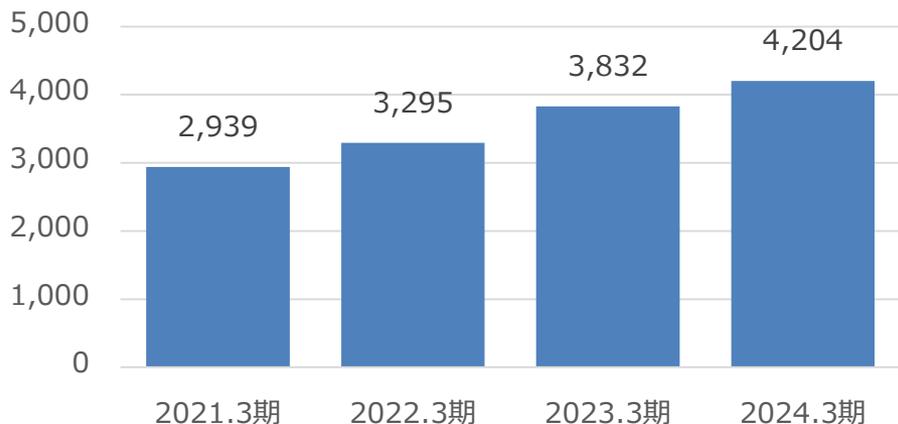
KYUSHU RAILWAY COMPANY

# 2024年3月期までの決算ハイライト

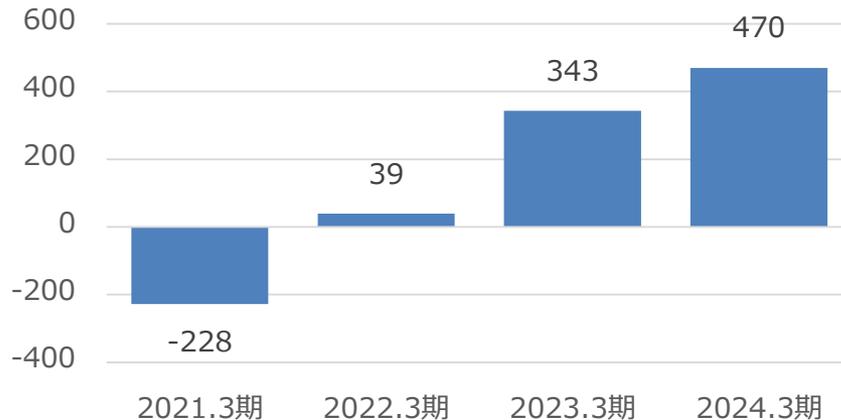


新型コロナウイルス感染症が収束し、社会経済活動の正常化が一層進み、鉄道事業を始めとした各事業における需要が回復したことなどにより、増収増益

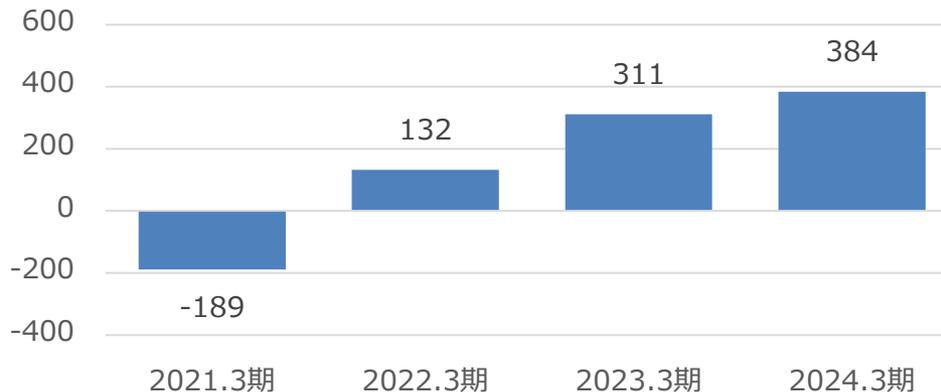
営業収益（億円）



営業利益（億円）



当期純利益（億円）



# 2025年3月期 通期連結業績予想ハイライト



- 従業員の待遇改善による人件費の増はあるものの、鉄道運輸収入の増や修繕費の減、前期開業物件の平年度化や開業経費剥落などにより、営業利益は増益見込み
- 連結の範囲を変更し、建設セグメントとビジネスサービスセグメントの一部の孫会社を連結化
- 中期経営計画における営業収益・営業利益・EBITDAの目標は達成見込み

(単位：億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 通期予想	対前年		中期経営計画 目標値	対目標	
営業収益	4,204	4,411	206	104.9%	4,400	11	100.3%
営業利益	470	573	102	121.7%	570	3	100.5%
経常利益	489	567	77	115.9%	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	384	422	37	109.8%	-	-	-
EBITDA	800	940	139	117.4%	940	-	100.0%



# 鉄道運賃・料金改定の認可申請



KYUSHU RAILWAY COMPANY

# 鉄道運賃・料金改定の申請について



- 本年7月に鉄道旅客運賃・料金の上限変更認可を申請
- 鉄道事業を継続するための課題解決に向け、改定の申請が必要と判断

## 申請背景・目的

- 高速道路網の発達や全国平均を上回る九州地区の人口減少・高齢化に加え、新しい生活様式の定着に伴うご利用のさらなる減少により、輸送需要はコロナ禍前の水準に戻らないと想定
- コロナ禍前から固定費の削減や生産性の向上に努めてきたが、昨今の電気料金や物価の高騰による経費の増加もあり、厳しい経営状況が継続する見込み
- 安全やサービスの維持向上、老朽化した車両・設備の更新や長寿命化、激甚化する災害やカーボンニュートラル等に対応する設備投資や修繕等に必要な資金を安定的に確保することが困難。また、働き手を安定的に確保すべく、待遇や職場環境の改善を図ることが急務

## 申請内容

実施予定日	2025年4月1日 (1996年1月以来、29年ぶりの改定)
増収額	169億円(増収率11.4%)
改定率	運賃・料金全体: 15.0% ・普通旅客運賃: 平均14.6% ・定期旅客運賃 通勤定期: 平均30.3%、通学定期: 平均16.0% ※通学定期の割引率は据え置き ・新幹線特急料金: 平均12.4% ※一部の隣接駅間等で自由席をご利用になる場合に 適用する特急料金と西九州新幹線の特急料金は据え置き

## 今後の取り組み

設備投資計画の主な件名	投資額
鉄道施設の長寿命化 (2024年度～2027年度)	約75億円
次世代車両の新製 (2024年度～2030年度)	約125億円
既存車両の改造 (2024年度～2030年度)	約110億円
次世代車両検査施設の整備 (2024年度～2031年度)	約480億円
チケットレスサービスの導入・拡大 (2024年度～2027年度)	約30億円



# 株主還元



KYUSHU RAILWAY COMPANY

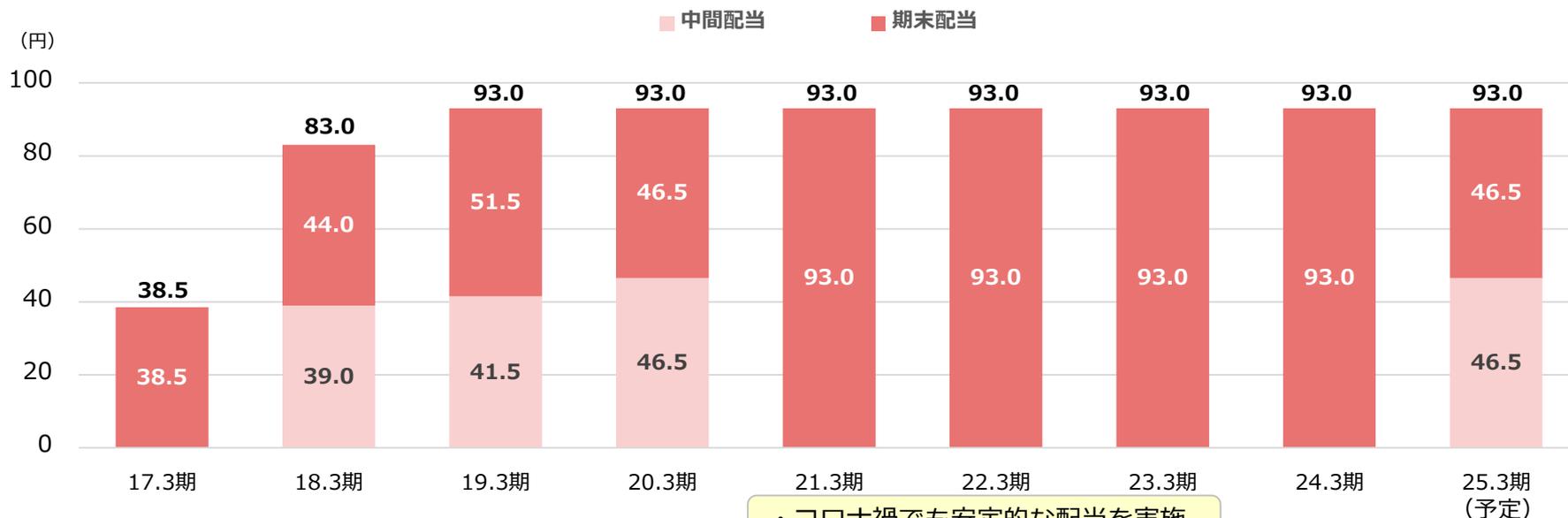
# 株主還元方針

2025年3月期は**1株当たり93円**の配当予定（5年ぶりに中間配当予定）

## 株主還元方針

- 株主還元は長期安定的に行っていくことが重要と考え、2025年3月期まで1株当たり配当金93円を下限として、連結配当性向35%を目安に配当を行い、状況に応じて機動的に自己株式取得を行う

(参考) 1株当たり年間配当金の推移



配当性向	13.8%	26.3%	30.2%	46.9%	-	110.3%	46.9%	38.0%	34.6%
総還元性向	13.8%	26.3%	30.2%	78.6%	-	110.3%	46.9%	38.0%	34.6%

※自己株式取得 (100億円)



# 株主優待制度



KYUSHU RAILWAY COMPANY

# 株主優待制度



## 3種類の株主優待

※ 3月31日を基準日として株主優待制度を実施し、6月下旬に送付しています。

### 鉄道株主優待券

1枚につき、お一人様の運賃が1日無料（**1日乗車券タイプ**）  
特急列車・新幹線にご乗車の場合は、別途特急券が必要

### JR九州グループ 株主優待券

JR九州グループの各利用対象施設で  
現金同様にご利用可能な**500円券**（一律5枚）

### JR九州高速船 株主優待 割引券

QUEEN BEETLE（クイーンビートル※スタンダードクラス）  
国際航路（福岡-釜山） 1名さま往復運賃 **10,000円**  
※2024年8月13日から当面の間、運休しております。

# 株主優待制度（鉄道株主優待券）



- お一人様1日限り、JR九州管内の快速・普通列車に乗り放題  
（日田彦山線BRTもご乗車いただけます）
- 別途、特急券等をご購入いただければ、特急列車・新幹線、D&S列車にもご乗車いただけます。
- 鉄道株主優待券と併用する特急券は、券売機やインターネット予約でも購入いただけます。

## <ご利用の際の運賃・料金のイメージ>

博多→鹿児島・指宿温泉へ

（大人お一人さまで九州新幹線自由席、特急「指宿のたまたま箱」指定席、片道利用の場合）

通常料金：12,440円（運賃：6,160円、新幹線自由席：4,500円、特急指定席1,780円）

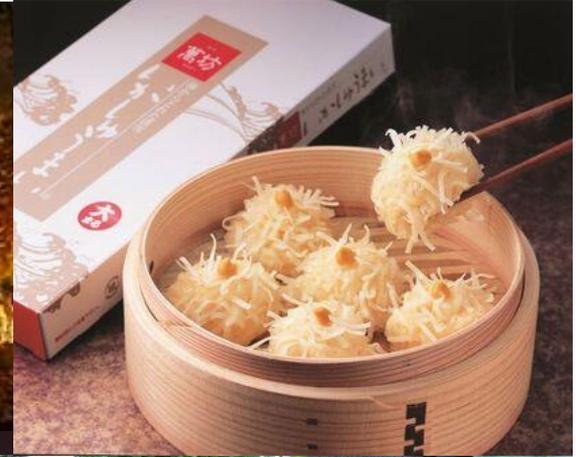
優待料金：6,280円（運賃：0円、新幹線自由席：4,500円、特急指定席1,780円）



# 株主優待制度（JR九州グループ株主優待券）



- JR九州グループの各利用対象施設で現金同様にご利用可能な**500円券（一律5枚）**
- 関東、関西及び九州・沖縄にある JR 九州グループの駅ビル、ホテル、飲食店など約**100施設**で利用可能



# 株主優待制度（長期保有株主優待制度）



## ご優待内容

「鉄道株主優待券」と  
「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行

## 発行基準

毎年3月31日を基準日として、**500株以上**を保有し、かつ  
100株でも継続して**3年以上**保有

所有株式数	鉄道株主優待券	長期保有株主優待	JR九州グループ株主優待券	長期保有株主優待	JR九州高速船株主優待割引券
					
100株～500株未満	100株ごとに1枚	—	—	—	—
500株～1,000株未満	100株ごとに1枚	1枚追加	—	2枚追加	—
1,000株～10,000株未満	10枚+1,000株超過分 200株ごとに1枚	2枚追加	一律5枚 (500円券×5枚)	4枚追加	一律1枚
10,000株～20,000株未満	55枚+10,000株超過分 300株ごとに1枚				
20,000株以上	100枚				

例) 2024年3月31日時点での所有株式数が500株以上であれば、  
直前3年間の保有株式数が500株未満であっても長期保有株主優待の対象となります。



**当社グループはあるべき姿として掲げる**

**「安全とサービスを基盤として九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」の実現に向けて、社員一丸となって取り組んでいます。**

**加速度的に変化する社会の中で、あるべき姿の実現に向けて、事業構造改革を完遂させるとともに、グループの未来をつくる「人、モノ、新技術」への投資を積極果敢に行うことで、今後の持続的な成長につなげてまいりますので、ご期待ください。**

# 本日のまとめ



## JR九州について

九州内を中心に、鉄道事業のみならず不動産、流通・外食事業等さまざまな分野で地域とともに「**価値**」を創出してきた企業グループ

## JR九州の 経営戦略

「あるべき姿」の実現のため、2030年長期ビジョンを掲げ**安全・安心なモビリティサービス**の提供と地域の特性を活かした**まちづくり**を通じて、九州の持続的な発展に貢献する

## 決算ハイライト & 株主還元

株主還元を経営上重要な施策と位置づけ、**長期安定的な還元**を目指す  
2025年度3月期は1株当たり年間93円の配当予想  
株主優待は3種類（長期保有株主優遇制度あり）

# 株主さま向け限定イベントの開催



株主さまに当社事業への理解を深めていただくべく、各種イベントを開催

## 株式上場7周年記念キャンペーン

- 株主の皆さまへ日頃の感謝を込めて、イベント等を開催



JR九州社長によるトークショー＆  
「SL人吉」「A列車で行こう」貸切ツアーの様子

## 熊本総合車両所見学ツアー

- 熊本総合車両所にて新幹線の点検行程等を見学



## 2024年度実施予定のイベント

- 熊本総合車両所見学ツアー開催予定（11～12月）  
※その他、関東地区でのイベントを開催予定

# 株主さま向けメールマガジンのご案内



当社の株主さま向けに月2回程度、IR情報や株主さま限定イベント、アンケート等の情報をお届けいたします。

[> 企業・IR・ESG・採用](#) > [IR情報](#) > [IRライブラリ](#) > [個人投資家向け資料](#) > [メールマガジン](#)

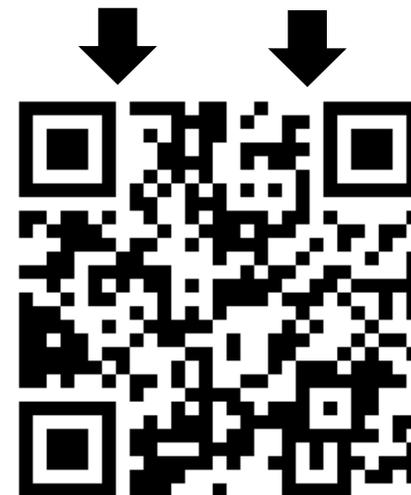
## JR九州株主さま向けメールマガジン登録のご案内

JR九州株主さま向けメールマガジンは、当社の株主の皆さまへの情報提供サービスです。以下のバナーをクリックして株主さまの情報をご登録いただきますと、メールで当社の企業情報やキャンペーン情報をお届けします。

※当社の株主さま限定のサービスとなります。

[新規登録（登録料・年会費はありません） >](#)

ご登録はこちら



※本メールマガジンは、トライコーン株式会社のメール配信ASPサービス「クライゼル」を採用しており、申込受付フォームは「クライゼル」のサイトとなりますので予めご了承ください。

# 将来の見通しに関する記述について



本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外および九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

弊社IR関連資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。  
JR九州ホームページ

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/>



ありがとうございました

